



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

第121号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971



## 幌延町こども議会開催

こども議会は、こども達に「町づくりや町議会の仕組みを理解し、身近に感じてほしい」、「普段はできない町への意見や提言を通し、大人と一緒にまちづくりを考えるきっかけにしてほしい」という思いを込めて今年11月15日に中学3年生を対象に開催されました。

こども議会では、幌延町議会のように一般質問形式で、町長、教育長に質問しました。

幌延・問寒別の中学生が学校の授業または聞き取りから得た知識、情報を使った提案や鋭い意見など幌延町のことを真剣に考えた一般質問をしてもらいました。

当日は、前半の議長を鹿口柚乃さん、後半の議長を植村颯太君が勤めました。

質問 若者が「こども働きたい」と思えるような職業を増やしたら若者の人口は増加すると思います。住宅を整備することによって若者の人口増加につながるのではないのでしょうか。

答 弁 やりがいや収入を備えた仕事ができれば、まちな活性化につながると思います。

現在、幌延町は、移住や定住を考える人に住宅用地の紹介や住宅購入に対する補助金制度の支援を行っているほか、企業向けや社宅整備に要する費用や従業員の雇用、仕事に必要な資格を従業員が取得する費用に対する支援を行うなど、何とかして地域経済の縮小や人口減少を抑えようとして取り組んでいます。



朝日せりなさん



スウェーデントーチ

質問 幌延町をもっと魅力のある町にすれば人口が増えると思います。特産品を使った名物を作れば、幌延町の魅力を向上させるのではないのでしょうか。

答 弁 幌延にある資源をうまく使って特産品を生み出していくのは良いアイデアだと思います。

幌延産ミスナラの木を使った酒造用の樽、スウェーデントーチや木工品の製品



伊藤 圭音 君